

BUSINESS REPORT 2016

2015年4月1日 — 2016年3月31日

富士ソフトサービスビューロ株式会社

証券コード：6188

■ TOP MESSAGE

当社は、1984年の創業以来、データエントリー事業を中心として、お客様のビジネスをサポートしてまいりましたが、近年、ICT技術の進歩によって、全てのビジネス・プロセスが見直される時代となり、お客様のニーズも多様化、高品質、高度化、広範囲なものとなっております。

当社では、このように多様化するお客様のニーズに的確にお応えできるよう、サービスを拡充・強化し、コールセンター・BPO・ITをフルパッケージで提供する「トータル・アウトソーシング・サービス」を展開しております。

また、2016年3月15日、東京証券取引所JASDAQ市場に上場することができました。ここに謹んでご報告申し上げますとともに、ステークホルダーの皆様方のご支援ご指導の賜物と心より深く感謝申し上げます。今後は上場企業としての社会的責任を自覚し、より一層事業の発展に努め、皆様方のご期待に応えるべく努力を重ねてまいります。



代表取締役社長 佐藤 諭

■ 決算ハイライト

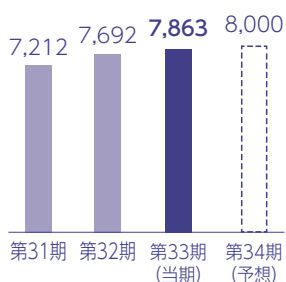
売上高 **7,863**百万円 (前期比 **2.2%** 増)

営業利益 **250**百万円 (前期比 **52.1%** 増)

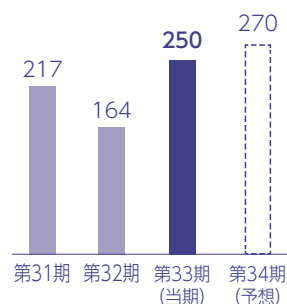
経常利益 **252**百万円 (前期比 **46.1%** 増)

当期純利益 **163**百万円 (前期比 **74.5%** 増)

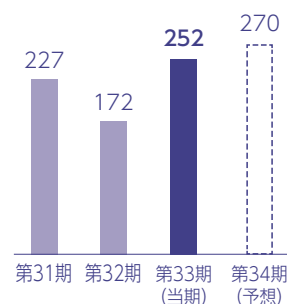
売上高 (百万円)



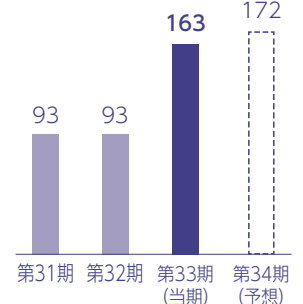
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



当期純利益 (百万円)



あらゆる外部委託ニーズに応える トータル・アウトソーシング・サービス

代表取締役社長 佐藤 諭



Q 御社のビジネスの概要についてご説明願います。

A データ入力から人材派遣、ウェブ制作に至るまで幅広いニーズにトータルでお応えしております。

当社は1984年の創業以来、データエントリー（電算入力）事業を中心にお客様のビジネスをサポートし、入力から仕分け、チェックまで包括的に手掛けてまいりました。そして、ここ10数年来におけるICT技術の進歩を踏まえて、お客様のより高度なニーズにすべてお応えすべく、「トータル・アウトソーシング・サービス」を展開しています。5つのサービス・パッケージを互いに連携させつつ、より専門的、より幅広いサービスを提供しているのです。

まず、オフィス・サポートサービスではクライアントの要望に応じて、様々な分野のスペシャリストを派遣。BPOサービスでは、データエントリーから業務全般の代行、最適なソリューションを提案するコンサルティングを行っています。そして、ソリューションの構築後もシステム・サポートサービスによって万全のサポート。必要に応じて技術者の派遣も行っています。コンタクトセンターサービスでは、電話やFAX、Eメール、チャットなどを通じてクライアントの顧客とのコミュニケーション業務を代行。ウェブコンテンツサービスではサイトの構築・運営を行っています。

Q 競合する他社と比較したときに、御社の強みはどこにあるのでしょうか。

A 中央省庁に強く、総合提案による受注獲得とストック型の収益モデルが強みとなっております。

アウトソーシング・サービス自体は他の多くの企業が提供していますが、当社のようにトータルでカバーしているところは他にあまり例を見ません。当社なら、クライアントの求めている作業をまるごと受託できるのです。また、年金関連のように専門性の高い分野に関する事務代行や電話応対などに対応できる人材がそろっていることも当社の財産だと言えるでしょう。

別の角度から言えば、①顧客基盤と運用ノウハウ、②ストック型の収益モデル、③顧客開拓力が当社の強みであるとも捉えられます。総合提案による受注獲得で、中央省庁に強いのが特徴です。具体的には、官公庁が約44%、民間企業が約56%という売上構成比となっています。継続的に当社のサービスを利用いただいているお客さまに加え、新規開拓による積み上げで安定成長を遂げていることも強みの1つです。たとえば、2012年3月期における継続顧客数は166社でしたが、2015年3月期には242社に拡大しています。

さらに、顧客開拓に関しましても当社は長年にわたる業務で高いノウハウを培っております。人材派遣サービスを通じて、お客様の業務プロセスを直接的に習得。こうして習得した業務プロセスを解析したうえで次のBPOサービスに反映させることにより、競合他社と差別化や顧客満足度の向上を図っています。加えて、災害・事故やリコー

ル、制度変更などといった緊急対応に対処できることも顧客の開拓へと結びついています。

Q 今後の利益成長について、どのようなビジョンを描いていますか？

A トータル・アウトソーシング方式の提案強化と特化型コールセンターによるBPO事業の拡大で成長を図ってまいります。

人口減少に伴う慢性的な人手不足とネット社会のさらなる進展でアウトソーシングに対するニーズはますます高まり、その範囲も拡大していくものと思われます。コールセンター市場、BPO市場とも、中長期的な成長が見込まれるとの調査結果も出ています。こうした世の中の流れを踏まえて、当社はトータル・アウトソーシング方式の提案をさらに強化していく方針です。中長期的には、2015年3月期に約24%だった構成比を倍増させることを成長戦略として掲げております。一方、特化型コールセンターによるBPOサービスの拡大にも努めます。経営資源を官公庁、ITヘルプデスク、金融系に集中投下し、専門性と品質に重点を置いたBPOサービスを推進する所存です。併せて設備やシステムの増強を図り、需要の拡大にも対処していきたいと考えています。

Q 株主還元についてはどのようにお考えでしょうか？

A 配当性向30%を目標に、着実に業績を伸ばすとともに社会的使命を果たしてまいります。

大きく分けて2つのことから、株主のみなさまの期待に応えていきたいと思っています。その1つは、売上と利益を着実に伸ばしていき、EPS（1株当たり当期純利益）の向上を図っていくことです。もう1つは、利益の一部を配当として株主のみなさまにしっかりとお支払いすることで、配当性向30%を具体的な数値目標として掲げています。

先でも述べたように、「委託できる業務は極力外へ……」という世の中の声に幅広く応えるという意味で、当社の果たすべき社会的責任は重いと言えます。また、事務作業の代行やコールセンターでの対応などといった職種上、当社内では約75%を女性が占めています。全国各地に展開している拠点を通じ、広く女性が活躍できる会社であり続けたいとも考えております。こうして社会的使命を果たすとともに、より一層社業の発展に努め、みなさま方のご期待に応えるべく努力を重ねてまいります。

TOPICS

東京証券取引所JASDAQ市場に 上場いたしました。

当社はおかげさまで2016年3月15日に、東京証券取引所JASDAQ市場に上場いたしました。当社では多様な連携が可能なビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)を展開しております。私たち富士ソフトサービスビューロは、「ローコスト・高品質・情報セキュリティ」を基本として、365日・24時間サポート体制を確立し、お客様に「信頼」されるベストパートナーとして邁進してまいります。



上場資金を設備とシステムへ積極投資

当社は2016年1月に幕張コンタクトセンターを開設し、年金相談関連の新規業務を受注し開始いたしました。2016年1月から150席で運用開始、2017年に150席増席の計画、2018年にさらに100席増席の計画をしております。また、会津BPO第2センターも2016年1月から運用開始し、順次地方に展開していきます。私たち富士ソフトサービスビューロは、情報システムの充実による業務の効率アップを目指していきます。



■ 会社データ (2016年3月31日現在)

会社概要

会社名	富士ソフトサービスビューロ株式会社 FUJI SOFT SERVICE BUREAU INCORPORATED
設立	1984年10月
資本金	354,108,800円
従業員数	2,353名
所在地	東京都墨田区江東橋二丁目19番7号
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)
証券コード	6188

役員

(2016年6月22日現在)

取締役会長	貝塚 隆	常勤監査役	中原 利彦
代表取締役社長	佐藤 諭	監査役	宮田 康夫
常務取締役	黒滝 司	監査役(社外)	松倉 哲
常務取締役	渡辺 健司	監査役(社外)	船津 浩三
常務取締役	小木曾雅浩	監査役(社外)	中込 一洋
取締役(社外)	五島 奉文		

沿革

1984年10月	オフィスアドバンス株式会社(現富士ソフトサービスビューロ株式会社)設立 資本金4,000万円
1986年10月	郡山センター開設
1987年6月	ABCサービスビューロ株式会社に社名変更
1994年11月	会津センター開設
1996年2月	資本金5,000万円に増資
1996年10月	富士ソフトABCサービスビューロ株式会社に社名変更
2000年6月	一般労働者派遣事業許可を取得
2000年10月	「筆ぐるめ」コールセンターサービス開始
2001年2月	本社を東京都墨田区江東橋二丁目19番7号に移転
2001年12月	Webメディアサービス開始
2002年10月	大阪コールセンター開設
2004年9月	BPOサービス開始
2004年11月	天王台コンタクトセンター開設
2005年3月	「個人情報保護マネジメントシステム(JIS Q15001)」認証を取得
2005年9月	有料職業紹介事業許可取得
2006年7月	富士ソフトサービスビューロ株式会社に社名変更
2007年1月	「情報セキュリティマネジメントシステム(ISO27001)」認証を取得
2008年9月	会津ITセンター開設(大阪コールセンターと統合)
2009年4月	大阪オフィス開設
2009年9月	札幌オフィス開設
2009年12月	「品質マネジメントシステム(ISO9001)」認証を取得、資本金2億円に増資
2010年2月	新潟コンタクトセンター開設
2011年3月	福岡オフィス開設
2012年10月	富士ソフトSSS株式会社と合併
2014年1月	長崎オフィス開設
2016年1月	幕張コンタクトセンター開設
2016年3月	東京証券取引所JASDAQ市場(スタンダード)へ上場

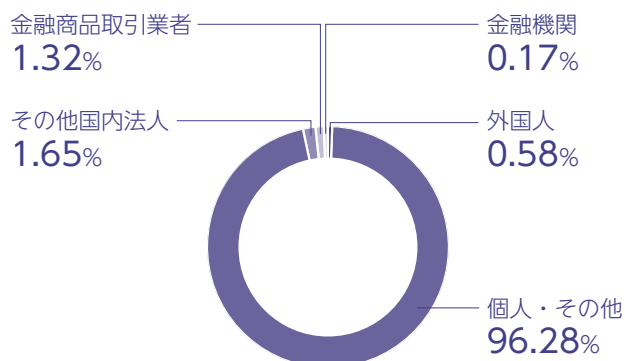
株式の状況

発行可能株式総数	9,000,000株 (2016年6月22日現在)
発行済株式総数	2,250,000株
株主数	1,210名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
富士ソフト株式会社	1,251,400	55.62
貝塚隆	60,000	2.67
富士ソフトサービスビューロ従業員持株会	46,800	2.08
株式会社SBI証券	32,700	1.45
株式会社日本ビジネスソフト	25,000	1.11
藤江容	25,000	1.11
佐藤諭	24,000	1.07
楽天証券株式会社	22,300	0.99
株式会社ホームメンテ神奈川	17,000	0.76
日本証券金融株式会社	15,900	0.71

株主分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度の終了後3ヶ月以内
株主確定基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	毎年9月30日、毎年3月31日
1単元の株式数	100株
公告掲載方法	当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 http://www.fsib.co.jp/
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部